

巖木中学校 学校便り

本部 総務書記
秀島 彩希さん

令和2年12月24日



巖木中教育目標

「主体的、協働的に取り組む生徒の育成」

文責:校長 古舘洋治

1 性と命について2年生が学習!

11月27日(金), たなベクリニック産婦人科の石崎奈美恵助産師さんから体験もまじえながらお話をいただきました。お話の内容は、下の通りです。

- 思春期の体の変化について(二次性徴)
- 今、ここにいる自分の大切さについて
- 思春期に多い性に関する不安や悩みについて
- 命のはじまりについて
- 望まない妊娠と人工中絶について
- 赤ちゃん人形を使っての体験
- 妊婦の心音を聞く体験
- 妊婦体験
- 性感染症について

<生徒の感想から>

・自分は、あんまり自分が好きじゃなかったです。でも、今日の話聞いて、自分は1億から4億分の1で生まれてきたのだと知ったので、もっと自分を大切に、好きになろうと努力しようと思いました。性は、恥ずかしいと思うかも知れないけれど、正しい知識を取り入れたいなと思いました。赤ちゃんの出産は神秘的だなと思ったし、すごいものなんだということも知れたので、妊婦さんには、1人で2つの命を守っているのだから、これからは、いつもの倍以上に気をつけて、接していきたいと思いました。今日は、ありがとうございました。(N.U.)

・話を聞いて、赤ちゃんを産むために、どれだけの時間が必要なのかがよく分かった。また、赤ちゃんを産むためには、お母さんたちが、どれだけ苦労しているのかが分かった。これからは、自分のことも、友達のこと大切にして、身の回りの人々に感謝して生きていきたい。困った時は、誰かを頼ろうと思った。(H.M.)

・今日の講話を聞いて、赤ちゃんが産まれるまでの大きさだったり、心臓の音やエコーも見たりして、詳しく知ることができました。また、男性や女性の体の仕組みについて知ることができました。命というものは、お母さんが39週間ぐらい苦労して産んでくれたということに改めて感じることができました。自分の命や友達のことを考えて過ごしたいと思いました。そして、正しい知識を身につけて過ごしたいと思ったし、自立できるようにがんばりたいと思いました。(S.O.)

・「性といのちの学習」をして、正しい知識を教えてもらえ、命についての大切さや一人一人が違うなとたくさんのことを学ぶことができました。



人は最初、ほんの小さな受精卵から大きく育つのに改めてびっくりしました。赤ちゃんの心臓の音も初めて聞いて、おなかの中ががんばって生きているんだと、すごいと思いました。今まで、インターネットや本、友達からなんとなく知っていたけど、学習として助産師の方から教えてもらうことができ本当によかったです。(H.S.)

2 新しいALTを紹介します!

新しいALTが赴任されました。いくつか質問をしました。英語で答えていただきました。みなさんどれくらい分かりますか?分からない単語は、すぐに辞書を引きましょう!



- ① name:Adriana Perez
- ② from:America
- ③ sign:Gemini
- ④ favorite famous person:Lady Gaga
- ⑤ who you respect:my older sister
- ⑥ your personality:I'm introverted and curious. I like to keep an open mind,too.
- ⑦ favorite food:sushi
- ⑧ What are you into recently:
Going to second-hand stores,buying old clothes,and re-making it into something new.

みなさんと共通するところがありましたか?!

(日本語訳は裏面です)

3 各種表彰者を紹介します!

おめでとうございます!



【JA 共済小中学生書道コンクール 条幅の部】

銀賞 3年 結城 亜美さん, 銅賞 1年 秀島 凜さん

【JA 共済小中学生書道コンクール 半紙の部】

銀賞 2年 平形 穂果さん, 銅賞 2年 秀島 彩希さん

【佐賀県学童美術展 絵画の部】

県 特 選 3年 増野 美咲さん

県準特選 3年 宮原 若菜さん

// 2年 大西 朱花さん, 大場 結衣さん

地区入選 3年 毛利 彩愛さん, 山田 剛優さん

// 2年 細川 愛理さん, 吉原 旺成さん

// 松瀬 莉彩さん, 原 周太郎さん

// 1年 結城 拓也さん, 長谷川 悠斗さん

// 1年 小松 祐月さん, 西村 心采妃さん

【唐津地区中学生新人剣道大会(令和2年12月6日)】

団体 優勝, 個人 3位 田久保 成弥さん

数々の曲残す 陶山聰さん

新しいALT紹介…日本語版

- ① 名前:アドリアーナ・ペレス
- ② 出身:アメリカ
- ③ 星座:ふたご座
- ④ 好きな有名人:レディ・ガガ
- ⑤ 尊敬する人:姉
- ⑥ 性格:私は内向的な性格で、好奇心が強いです。常に広い心をもつことも好きです。
- ⑦ 好きな食べ物:すし
- ⑧ はまっているものは:古着屋に行き、古い服やリメイクされて新しくなった服を買うことです。

鳥栖市が生んだ音楽教育家・陶山聰さん(1907〜99)の功績を後世に伝えようと、地元顕彰会を中心に機運が高まっている。

折しも、今年3〜11月のNHK連続テレビ小説(朝ドラ)「エール」では作曲家・古関裕而さん(1909〜89)が脚光を浴びた。両氏は同時代を生き、古関さんは5千曲、陶山さんは3千曲を残したという。陶山さんの功績は数々のエピソードにあふれている。佐賀の地が生んだ偉人を心にとどめたい。

陶山さんは鳥栖市幸津町生まれ。佐賀師範学校在学中に100曲余りを作り、東京音楽学校を受験したが失敗、鳥栖小に赴任した。小中学校に勤めながら作曲に励み、92歳で亡くなるまでに県内外に数々の校歌、童謡などを残

し「県民体育大会の歌」も手掛けた。

朝ドラでは、古関さんの曲が戦意高揚に利用されるなど戦争にほんろうされる姿が描かれた。陶山さんも戦時の出来事と無縁ではなく、後に特攻隊員が鳥栖小へ弾きに来たと伝えられ、映画「月

光の夏」のモデルになったピアノ「フツベル」の購入に深く関わった。

功績、次代に伝えよう

時23歳の陶山先生。ピアノ選びを任せられ、福岡市の展示場で十数台を試しに弾いて選んだのが、グラ

ンドピアノの中でも大型の演奏会用ピアノ「フツベル」だった。千円で2階建ての家が建つといわれた時代に、3500円の買い物だったといいい、大きな責任を伴

う決断だったことだろう。このピアノの存在をきっかけにして『演奏会用の特別なピアノが鳥栖小にある』と聞きつけた東京音楽学校卒の特攻隊員が鳥栖小を訪れ『月光の曲』を弾いた』というエピソードも生まれたとされる。

オドラマ「鐘の鳴る丘」の主題曲をヒットさせた昭和22(1947)年、文部省は児童・生徒の創作曲を募集した。3265曲の中から28曲が選ばれて出版されたが、陶

山さんが指導した麓小の児童が入選を果たした。陶山さんは作曲指導にも力を入れるようになり、昭和31(1956)年には山田耕筰編の中学音楽教科書に採用された生徒創作の3曲全てが鳥栖中生徒という快挙をなし、全国紙が「田園都市の奇跡」とたたえた。

朝ドラでは戦時中、終戦直後、復興期それぞれに古関さんが音楽を通して果たした功績が描かれて

いたが、陶山さんも日本が置かれたそれぞれの状況において、味わい深い仕事をしている。

顕彰会は今年11月、陶山さん愛用のピアノを地元の旭まちづくり推進センターに寄贈した。次女の藤崎美枝子さんは「寄贈が一番喜んでいるのは父」と語ったが、ピアノが奏でられるたびに陶山さんの功績が人々の胸に刻まれ、次代に継承されていくことだろう。

皆さんの近くにも陶山さんの曲はないだろうか。私は「佐賀新聞社歌」(昭和28年)もそうだと知った。「私の地元にもあった」。そんな一人一人の発見と親近感が、陶山さんを語り継ぐ強い力になる。教え子や人となりを知る人はぜひその言葉を残し、後世に伝えてほしい。(樋渡光憲)